

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 商業 科目 簿記

教 科： 商業 科 目： 簿記 単位数： 4 単位
対象学年組： 第 1 学年 組～ 組
教科担当者： （ 1組：藤本 ） （2組：小林優 ） （3組：堀 ） （4組：吉持 ） （5組：木口 ）
使用教科書： （ 新簿記新訂版(実教出版) ）

教科 商業 の目標：
【知 識 及 び 技 能】商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に
【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展

科目	簿記	の 目 標：		
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。		取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を身に付けている。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A	第1編 簿記の基礎 【知識及び技能】 簿記の基礎について、実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 簿記の基礎について、取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし、創造的に課題に対応する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 簿記の基礎について、自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○簿記のガイダンス ○第1章 簿記の基礎 ○第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表 ○第3章 収益・費用と損益計算書	【知識・技能】 ○簿記の定義、目的、種類、歴史、前提条件について、その知識・技術を身に付けている。 ○資産・負債・純資産の増減と純損益の計算、貸借対照表について、その知識・技術を身に付けている。 ○損益法による純損益の計算、損益計算書について、その知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ○簿記の定義、目的、種類、歴史、前提条件について、思考・判断し、それを表現する方法を身に付けている。 ○資産・負債・純資産の増減と純損益の計算、貸借対照表について、思考・判断し、それを表現することができる。 ○損益法による純損益の計算、損益計算書について、思考・判断し、それを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 ○プリント、ワーク等が適切に記入されている。	○	○	○	15
B	第1編 簿記の基礎 【知識及び技能】 簿記の基礎について、実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 簿記の基礎について、取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし、創造的に課題に対応する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 簿記の基礎について、自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○第4章 取引と勘定 ○第5章 仕訳と転記 ○第6章 仕訳帳と総勘定元帳 ○第7章 試算表 ○第8章 精算表	【知識・技能】 ○簿記上の取引概念、勘定や勘定講座、取引の分解および勘定記入のルールについて、知識・技術を身に付けている。 ○仕訳と転記の意味について理解し、実際にこれら2つの作業ができる知識・技術を身に付けている。 ○主要簿の概念を理解し、仕訳帳と総勘定元帳の基本的な記帳方法について、その知識・技術を身に付けている。 ○試算表の意味と目的を理解し、3種類の試算表を作成する知識・技術を身に付けている。 ○精算表の意味と仕組みを理解し、精算表を作成する知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ○取引の分解および勘定記入のルールについて思考・判断し、それを表現することができる。 ○仕訳と転記における、それぞれの手順について、思考・判断し、自分が身に付けたことを表現できる。 ○主要簿の概念、仕訳帳と総勘定元帳の記帳の仕組みについて、思考・判断し、それを表現する方法を身に付けている。 ○貸借平均の原理に基づく試算表の作成方法について、思考・判断し、それを表現する方法を身に付けている。 ○損益法と財産法の計算式に関連させながら精算表の仕組みについて、思考・判断し、それを表現する方法を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 ○プリント、ワーク等が適切に記入されている。	○	○	○	20

1 学期	定期考査		【知識・技能】基礎的・基本的な知識・技術が身に付いている。 【思考・判断・表現】思考を深め、基礎的・基本的な知識技術を活用して適切に判断し、表現することができる。	○	○		1
	C 第2編 取引の記帳	○第10章 現金・預金等の取引 ○第11章 商品売買の取引 ○第12章 掛け取引	【知識・技能】 ○簿記上の現金の入金と出金、現金・小口現金の記帳方法と当座預金など預け入れと引き出し、当座借越の記帳方法について理解している。 ○3分法による商品の仕入れと売り上げの記帳方法について理解している。 ○仕入帳と売上帳の意味と記入する内容について理解している。 ○商品有高帳の意味と記入する内容について理解している。 ○商品売買における掛け取引の意味と勘定と掛け元帳の関係性について理解している。 【思考・判断・表現】 ○簿記上の現金の入金と出金、現金・小口現金の記帳方法と当座預金など預け入れと引き出し、当座借越の記帳方法を身に付けている。 ○3分法による商品の仕入れと売り上げの記帳方法を身に付けている。 ○仕入帳と売上帳の意味と記入する内容を身に付けている。 ○商品有高帳の意味と記入する内容を身に付けている。 ○商品売買における掛け取引の処理と勘定と掛け元帳の記帳方法を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 ○プリント、ワーク等が適切に記入されている。	○	○	○	20
	D 第2編 取引の記帳	○第13章 手形の取引 ○第14章 その他の債権・債務の取引	【知識・技能】 ○手形の種類と約束手形の意味、受取人と振出人の関係性について、理解している。 ○手形記入帳の意味と記入する内容を理解している。 ○その他の債権・債務の取引等に関する基本的な内容とその記帳方法を理解している。 【思考・判断・表現】 ○約束手形において、受取人と振出人のそれぞれの記帳方法を身に付けている。 ○手形記入帳の記帳方法を身に付けている。 ○その他の債権・債務に関する記帳について、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 ○プリント、ワーク等が適切に記入されている。	○	○	○	10
	定期考査		【知識・技能】 ○基礎的・基本的な知識・技術が身に付いている。 【思考・判断・表現】 ○思考を深め、基礎的・基本的な知識技術を活用して適切に判断し、表現することができる。	○	○		1

2 学 期	D 第2編 取引の記帳	○第15章 固定資産の取引 ○第16章 個人企業の資本の取引 ○第17章 販売費及び一般管理費、税金の取引	【知識・技能】 ○固定資産の取引に関する基本的な内容とその記帳方法を理解している。 ○個人企業の資本の取引等に関する基本的な内容とその記帳方法を理解している。 ○販売費及び一般管理費と税金の取引等に関する基本的な内容とその記帳方法を理解している。 【思考・判断・表現】 ○固定資産の取引に関する記帳に関して、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けている。 ○個人企業の資本に関する記帳について、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けている。 ○販売費及び一般管理費と税金の取引等に関する記帳について、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 ○プリント、ワーク等が適切に記入されている。	○	○	○	10
	E 第3編 決算(その1)	○第18章 決算整理(その1) ○第19章 8桁精算表 ○第20章 帳簿決算	【知識・技能】 ○決算手続きの意味を理解し、決算手続きに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ○8桁精算表の意味を理解し、作成方法について、基礎的・基本的な知識を理解している。 ○帳簿決算の意味を理解し、総勘定元帳の締め切りと繰越試算表・損益計算書・貸借対照表の作成方法について、基礎的・基本的な知識を理解している。 【思考・判断・表現】 ○決算整理をおこなう必要性について思考し、財務諸表を活用して企業の状況について判断し、決算結果を財務諸表に表現できる能力を身に付けている。 ○8桁精算表と6桁精算表の作成方法の違いについて思考し、適切に作成する能力を身に付けている。 ○決算整理を含んだ帳簿決算について、一定の方法にしたがって会計処理する能力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 ○プリント、ワーク等が適切に記入されている。	○	○	○	25
	定期考査		【知識・技能】基礎的・基本的な知識・技術が身に付いている。 【思考・判断・表現】思考を深め、基礎的・基本的な知識技術を活用して適切に判断し、表現することができる。	○	○		1
	F 第4編 会計帳簿と帳簿組織	○第21章 会計帳簿	【知識・技能】 ○第1章～第20章までに学んだ様々な帳簿の記帳方法を理解している。 【思考・判断・表現】 ○ビジネスの諸活動について、記帳にどの帳簿もしくは伝票を用いるか自ら判断し、適切に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 ○プリント、ワーク等が適切に記入されている。	○	○		10

	定期考査		【知識・技能】基礎的・基本的な知識・技術が身に付いている。 【思考・判断・表現】思考を深め、基礎的・基本的な知識技術を活用して適切に判断し、表現することができる。	○	○		1
	F 第4編 会計帳簿と帳簿組織 【知識及び技能】 会計帳簿と帳簿組織について、実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 会計帳簿と帳簿組織について、取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、創造的に課題に対応する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 会計帳簿と帳簿組織について、自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○第22章 伝票の利用 ○第23章 会計ソフトウェアの活用	【知識・技能】 ○仕訳帳との違いを含めて伝票の意味と作成方法を理解している。 ○取引の記録に会計ソフトウェアを活用することによる利点を理解している。 【思考・判断・表現】 ○入金取引、出勤取引、その他の取引について、どの伝票を用いるかの判断をとおして記録の合理性を考えることができる。 ○会計ソフトウェアの活用方法について思考し、記録の合理化を達成する方法を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 ○プリント、ワーク等が適切に記入されている。	○	○	○	8
3 学 期	G 第6編 決算整理 (2) 【知識及び技能】 費用・収益の繰り延べ・見越しや切手・はがきなどの未使用分の意味とそれぞれの記帳法を理解させ、習熟をはかる。 費用・収益の繰り延べ・見越しや切手・はがきなどの未使用分の意味とそれぞれの記帳法を理解させ、習熟をはかる。 【思考力、判断力、表現力等】 費用・収益の繰り延べ・見越しの妥当性と課題を見だし、創造的に課題に対応する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 決算の費用・収益の見越し・繰り延べについて、自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○第28章 決算整理 (その2)	【知識・技能】 ○費用・収益の繰り延べと見越し、切手・はがきなどの未使用分の処理、有価証券の評価、間接法による減価償却の記録などに関する基礎的・基本的な技術を身につけたか。 ○決算時に現金過不足・当座借越がある場合の記録に関する基礎的・基本的な技術を身につけたか。 【思考・判断・表現】 ○費用・収益の繰り延べ・見越しなどを含んだ財務諸表について自らの思考を深め、適切に作成できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○費用・収益の繰り延べ・見越しなどを決算整理として行う理由に関心を持ち、自ら進んで調べる態度を示したか。 ○自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 ○プリント、ワーク等が適切に記入されている。	○	○	○	17
	定期考査		【知識・技能】基礎的・基本的な知識・技術が身に付いている。 【思考・判断・表現】思考を深め、基礎的・基本的な知識技術を活用して適切に判断し、表現することができる。	○	○		1
							合計
							140